

ぐるまにわ 眞庭

12月15日、北房コスモス広場でイルミネーションの点灯式が行われました。この取り組みは地元の有志団体「イルミツつて、いいね俱楽部」が平成28年から行っています。会場には約4000本のペットボトルを使ったタワーや、全長70mのハート型の回廊などが設置され、訪れた人々は記念写真を撮ったり、飲食コーナーで食事をしたりして楽しんでいました。点灯期間は2月14日までで、その間、広場は「ハート広場」と呼ばれます。

地域を明るく元気に彩る 北房ハート広場イルミネーション点灯



14万個のLEDで彩られた広場



ハート型の回廊は子どもにも大人気



感想などを寄せ書き

12月1日、勝山地域の町並み保存地区を中心し平成14年から活動を続けてきた「人力車まつもと」が終業の日を迎えた。永年スタッフとともに人力車を引いてきた松本高明さんですが、1年ほど前から体力の限界を感じて引退を決意しました。この日は岡山市の新婚夫婦が、人力車に乗車。中央図書館から勝山駅までの約1キロメートルを走行しました。松本さんは、今後もしばらくの間後継者探しを続けます。

2020力月の歩みに終止符 人力車まつもと終業



永年活動を続けてきた松本さんたち



大勢の参加者が式守さんの話に一心に耳を傾ける

11月30日、大相撲の行司を務める式守勘太夫さんが母校の遷喬小学校を訪れ、力士や行司の世界をユーモアを交えて紹介。左利きだった式守さんは相撲文字を右手で書けるように訓練したエピソードや、小学校での心得を話しました。また、力士の大きな手形が入った色紙や番付表などがプレゼントされ、児童は相撲を身近に感じながら交流しました。

久世ゆかりの行司が小学校へ 遷喬小学校PTA講演会「行司と相撲」

まちの話題

11/27 毎日魚を食べて健康に

美甘津る子さん（社）が11月15日に百歳を迎えるされました。自身魚が好物で、毎日のように食べています。記憶力もよく、転倒しても骨折をしたことがないそうです。よく食べよく眠ることが長寿の秘訣。



12/1 7年に1度の長政荒神神楽

北房地域の長政公会堂で「長政荒神神楽」が開催されました。集まった人たちは備中神楽を見たり、炊き出しの豚汁などを味わったりしながら過ごしていて、会場は地区の人たちの笑顔であふれていました。



12/6 双子デュオの歌声に歓喜!

特別養護老人ホーム千寿荘で、倉敷市出身の歌手まゆみゆのコンサートが行われました。お年寄りに歌を聞いて元気になってもらおうと蒜山高原センターが開催。まゆみゆは昭和歌謡曲で会場を盛り上げました。



12/16 力を合わせてしめ縄づくり

醍醐桜のそばの休憩所で、
桜の幹に巻くしめ縄を作りました。参加者は、縄をな
いやすくするために藁を木
槌で叩いたり、なう作業を
手分けして行ったりしなが
ら、立派なしめ縄を完成さ
せました。



12/17 おいしい食事が健康の秘訣

山本輝子さん(蒜山上長田)が11月30日に百歳を迎えられました。長寿の秘訣は、好き嫌いなく食事を取ること。友人とコミュニケーションをとったり、体を動かしたりと、楽しく過ごされています。



顔もほころぶ癒しの作業

12月8日、たまごで多肉植物の寄せ植え講座が美甘振興局で開かれました。参加した13人は、たまごの殻を鉢に使い、カットされた多肉植物の枝先をピンセットなどで植えていました。多肉植物は、枝先を切り土にさしておくだけで根付く植物です。また、植え替え時に殻ごと鉢に入ることで、たまごの殻が肥料になることから環境に優しく、誰でも気軽にグリーンライフを楽しむことができるということです。

**身近で簡単なグリーンライフを
たまごで多肉植物の寄せ植え**



全力で櫻をつなぐ選手たち

12月9日、第28回神庭の滝駅伝競走大会が、勝山スポーツセンターを発着点に開催されました。11・7キロのAコース（中学生男子・一般）と7キロのBコース（小学生の部ほか）の2コースに、市内外から65チーム約400名が参加。城山や神庭の滝など高低差のある5区間で競われ、選手たちは急坂のあるコースに苦戦しながらも、沿道からの声援を受けながら、チームで櫻をつけなぎゴールを目指し力走しました。

チームでつなぐ 神庭の滝駅伝競走大会